



2026年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社オービーシステム  
代表者名 代表取締役社長 豊田 利雄  
(コード番号：5576 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理本部長 杉本 繁治  
(TEL 06-6228-3411)

(訂正) 「2026年3月期 通期 決算補足説明資料」の一部訂正について

2026年4月22日に開示いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の記載内容に一部訂正すべき事項があり、本日訂正版の開示を行っております。これに伴い同時に公表いたしました「2026年3月期 通期 決算補足説明資料」の記載内容につきましても同様に訂正を行い公表いたします。

記

1. 訂正の理由

『(訂正・数値データ訂正) 「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について』に記載のとおりであります。

2. 訂正内容

譲渡制限付株式関連費用を営業外費用として追加計上したため、2026年3月期の経常利益、税金等調整前当期純利益、当期純利益（親会社に帰属する当期純利益）の各項目が1.4百万円減額となっております。合わせて前期比較増減額、増減率等も訂正しております。

3. 訂正箇所

訂正箇所は同様の内容で訂正箇所が多数であるため、訂正後の補足資料を添付し、該当部分を赤枠で囲っております。

以 上

# 2026/3期 通期 決算補足説明資料 **訂正後**

2026年5月12日  
株式会社オービーシステム

東証スタンダード市場:5576

本日2026年3月期の決算短信(4月22日開示)の訂正を行っており、本資料も合わせて訂正いたします。  
訂正箇所を**赤枠**で囲っております。

## 国内経済及び業界動向

- 国内経済は、米国の通商政策動向や物価上昇等による景気下振れリスクはあったものの、雇用環境の改善や賃上げの進展、設備投資の増加に加え、生成AIやクラウドサービス、DX(デジタルトランスフォーメーション)関連投資の拡大などが下支えし、景気は緩やかな持ち直し基調で推移。

## 通期業績

- 当期純利益は、期初計画に対し上振れて着地。売上高・営業利益は計画に及ばずも、12.6%増収、19.5%営業増益と事業を拡大。売上高、利益ともに過去最高を達成。

売上高

86.55億円

前期比+12.6%

売上総利益

16.75億円

前期比+15.7%

営業利益

6.72億円

前期比+19.5%

経常利益

7.27億円

前期比+18.9%

親会社株主に帰属する  
当期純利益

5.99億円

前期比+23.6%

- 今期は主力である銀行分野の大型案件の終了による受注減少が大きかったものの、保険分野の拡大、M&Aによる規模拡大を図った効果もあり、前期に比し売上高は12.6%増加。
- 前期に引き続き、IT人材の確保に向けた積極的な採用や、生成AIをはじめとするDX人材育成、R&D強化への取組みを推進。これらの将来の成長に向けた先行投資により販管費が大きく増加したが増益を確保。
- グリーンキャット社を5月に完全子会社化し2Qより連結を開始。通期で8か月分を計上。

## 中期経営計画(2025/3期~2027/3期の3か年計画)に沿った施策を着実に推進

## システム開発力の強化

- 4月 人員増強(新卒採用を拡大継続)
  - 新卒49名採用、若手(20代、30代)比率57%、DX案件への対応力強化
- 5月 M&Aによる体制強化
  - グリーンキャット社社員・BP合わせ約160名増強

## R&amp;D・業務提携拡大による事業拡大の加速

- 4月 AIを搭載した医療系パッケージソフト開発・販売開始
- 7月 大阪大学との協創検討開始
- 10月 AIリテラシー強化の体制づくり(AI社内教育加速、AI資格取得奨励)
- 1月 AX推進室を新設しAIトランスフォーメーションへの取組みを強化
  - AXラボを設置しAIエージェント開発による社内業務効率化、顧客POC提案を加速
- 3月 大阪大学協創でのAIを利用した実証研究を実施
  - 研究結果を踏まえ自社開発案件に適用するとともにお客様への提案を推進

## M&amp;Aによる事業拡大の推進

- 5月 グリーンキャット社を完全子会社化
  - 前年のヒューマン&テクノロジー社に続き2社目のM&Aを実施
  - 12月決算のため今期は8カ月分のみ連結、来期はフルに業績寄与

- 主力である銀行分野の大型案件の終了による受注減少が大きかったものの、保険分野の拡大、M&Aにより規模拡大を図った効果もあり、前年同期に比し売上高は12.6%増加。加えて人件費・教育研修費用など先行投資の販管費大幅増加があったが、売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前年同期を上回り**過去最高の業績を更新**した。

(百万円)	2025/3期	2026/3期				
		累計実績	前期差	前期比	通期見通し	達成率
売上高	7,684	8,655	+971	+12.6%	9,400	92.1%
売上総利益	1,448	1,675	+227	+15.7%	1,825	91.8%
粗利益率	18.9%	19.4%	+0.5pp	-	19.4%	-
販管費	886	1,003	+117	+13.3%	1,105	90.8%
営業利益	562	672	+109	+19.5%	720	93.4%
営業利益率	7.3%	7.8%	+0.4pp	-	7.7%	-
経常利益	611	727	+115	+18.9%	767	94.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	485	599	+114	+23.6%	590	101.7%
EPS	210.6円	258.8円	+48.2円	+22.9%	254.3円	101.8%

※グリーンキャット社(12月決算)のM&Aによる株式取得は5月、2Qから連結業績に含まれ、累計では8か月分が反映されている。

- 四半期ごとに順調に売上、利益を伸長し、売上総利益率は下期には目標の20%を超えて推移
- 営業利益率も4Qは10%を超え、利益率は向上
- 3Qで四半期最高となった売上高、売上総利益、営業利益、経常利益も、4Qでは更に過去最高額を更新

(百万円)	2025/3期				2026/3期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前年4Q比	前四半期比 (3Q比)
売上高	1,826	1,927	1,922	2,007	1,753	2,146	2,261	2,494	+24.2%	+10.3%
売上総利益	352	362	354	379	318	392	454	510	+34.5%	+12.5%
粗利益率	19.3%	18.8%	18.4%	18.9%	18.2%	18.3%	20.1%	20.5%	-	-
販管費	279	176	191	239	279	218	251	254	+6.2%	+0.9%
営業利益	72	186	163	140	39	174	202	256	+82.7%	+26.9%
営業利益率	4.0%	9.7%	8.5%	7.0%	2.2%	8.1%	8.9%	10.3%	-	-
経常利益	82	191	175	161	51	179	231	264	+64.1%	+14.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	92	132	123	136	66	148	168	217	+58.7%	+29.2%

※グリーンキャット社(12月決算)のM&Aによる株式取得は5月、第2四半期は2か月分、第3四半期は3か月分、通期では8か月分を反映

- 純資産は5億円増加し自己資本比率は7割超の高水準を維持
- M&Aにより手元資金は減少したものの、高い流動性を確保

(百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期	前期比増減
流動資産	4,121	3,937	3,834	△102
現預金	2,905	2,638	2,291	△346
売掛債権	1,100	1,214	1,426	+211
棚卸資産	21	16	24	+7
固定資産	1,757	2,534	3,785	+1,251
のれん	—	188	615	+426
顧客関連資産	—	143	411	+267
投資有価証券	1,577	2,011	2,505	+493
総資産	5,878	6,471	7,620	+1,148
負債	1,167	1,357	1,921	+564
買入債務	271	268	310	+42
純資産	4,711	5,113	5,698	+584
負債及び純資産	5,878	6,471	7,620	+1,148
自己資本比率	80.1%	79.0%	74.8%	△4.2pp

- 営業CFは順調に利益を計上し増加
- 投資CFはM&Aによる子会社株式取得のため減少
- 増配を継続しているがキャッシュフローは十分

(百万円)	2024/3期	2025/3期	2026/3期
営業CF	30	461	329
税前当期利益	632	695	845
減価償却費	14	34	45
債権債務増減	△57	△91	△98
役員退職慰労金	△500	—	—
法人税等支払額	△131	△32	△332
投資CF	△7	△444	146
固定資産取得	△6	△30	△15
子会社株式取得	—	△407	△247
定期預金預入・払戻	600	100	598
投資有価証券取得・処分	△600	△101	△168
FCF	23	17	475
財務CF	92	△184	△271
株式発行収入	231	—	—
配当金支払額	△174	△184	△208
現金及び現金同等物増減額	116	△167	203
現金及び現金同等物残高	2,205	2,038	2,242

- 中期経営計画に沿って、25/3期にH&T社を、26/3期にはGC社を連結に加えることで、着実に業績を伸長する計画
- 2027年3月期は策定した連結中期経営計画の最終年度であり、AIを活用した案件獲得などで旺盛なシステム投資需要に応え、売上高は前期比で15%増収となる100億円の達成を計画
- 一方で人件費、外注単価などのコスト上昇を想定するが、将来のための新卒採用増員を継続し、教育・研修費用の増加も増収効果で吸収し、前期比24%の営業増益を見込む

(百万円)	2026/3期 (実績)	2027/3期 (業績見通し)	増加額	増加率
売上高	8,655	10,000	+1,344	+15.5%
営業利益	672	835	+162	+24.2%
経常利益	727	900	+172	+23.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	599	720	+120	+20.1%
EPS(円)	258.8	309.2	+50.4	+19.5%

### 配当金での株主還元が柱

- 2026年3月期は年間100円を計画していたが、**105円に増額**。上場以来3期連続増配とし、配当性向も40%以上を実現。
- 2027年3月期も業績や財務状況、投資計画の状況を考慮したうえで、連続増配を継続して利益を還元していく方針。

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期		2027/3期 (計画)
				当初計画	今回見直し	
一株当たり配当額	50円	70円 (30円)	80円 (40円)	100円 (50円)	<b>105円 (50円)</b>	125円 (60円)
うち、記念配	—	10円 (5円)	—	—	—	—
EPS	239.5円	193.0円	210.6円	254.3円	<b>258.8円</b>	309.2円
配当性向	20.9%	36.3%	38.0%	39.3%	<b>40.6%</b>	40.4%

※配当金額の下段括弧は中間配当金額を内書き

- 今期の売上高は、地銀向け大型案件の終了により金融事業が落ち込む一方、他の事業部門が伸長し、全体では若干の増加。
- 定昇・バア等による人件費増加に加え、生成AIをはじめとしたDX人材教育・育成、R&Dの拡大に注力したため販管費は9.3%増加となり、営業利益・経常利益を圧迫。
- 政策保有株式の縮減方針に沿った投資有価証券の売却により、純利益は増加し継続的な押上げが可能な体制を確立。

(百万円)	2025/3期	2026/3期				
		累計実績	前期差	前期比	通期見通し	達成率
売上高	7,418	7,468	+50	+0.7%	8,030	93.0%
金融	3,052	2,784	△267	△8.8%	3,258	85.5%
産業流通	2,042	2,164	+121	+6.0%	2,271	95.3%
社会公共	1,722	1,848	+126	+7.3%	1,843	100.2%
ITイノベーション	601	671	+70	+11.7%	656	102.3%
売上総利益	1,374	1,427	+52	+3.8%	1,525	93.6%
粗利益率	18.5%	19.1%	+0.6pp	-	19.0%	-
販管費	749	819	+69	+9.3%	825	99.3%
営業利益	625	608	△16	△2.7%	700	86.9%
営業利益率	8.4%	8.1%	△0.3pp	-	8.7%	-
経常利益	673	663	△9	△1.5%	750	88.4%
当期純利益	555	578	+23	+4.2%	611	94.7%

## 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、  
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先

株式会社オービーシステム 東京本社IR担当  
TEL:03-3471-9877(代表)  
E-mail:ir@obs.co.jp